

ひろのオリーブ村に苗木の寄贈



↑ひろのオリーブ村会員とさいたま桜高等学園の代表者ら

6月21日(土)、ひろのオリーブ村にさいたま桜高等学園の園生が育てたオリーブの苗木50本が寄贈され、同村会員と学園の代表者たちが、広野町大字上浅見川字大谷内の畑にそれらの苗を植えました。

同村は、昨年も学園から苗木46本の寄贈を受け、その木は今年ニッ沼総合公園で花芽を付け、すくすくと成長しています。

広野小、広野中で絵画鑑賞会



↑絵画を鑑賞する子どもたち

9月9日(火)、10日(水)に広野小学校の図工室で、小学校の図工や中学校の美術の授業として絵画鑑賞会が行われました。広野町在住の画家で双葉郡美術協会会長の鶴田 松盛さんが企画したもので、イラン出身で日本在住の画家マンスール・コルドバッチェさんが花などを描いた絵画約30点を、広野小の児童と広野中の生徒全学年が、それぞれの授業で鑑賞しました。子どもたちは、鶴田さんやコルドバッチェさんからの質問に、一番好きな作品とその理由、自分で考えた題名を答えました。

↓流しそうめんを楽しむ子どもたち



まちの話題

流しそうめん 夏休み最後の日を満喫

8月24日(日)、夏休み最後の日に町民有志の会「広野町がんばっ会」が「流しそうめんとべっ会」を開催しました。残暑厳しいこの日、集まった町内の中学生以下の子どもたちとその保護者合わせて約50人が、流しそうめんを涼をとりました。この日は、いわき明星大学の学生も手伝いに訪れ、水鉄砲、宝探し、小物づくり、スイカ割りなども楽しみました。

下北迫地蔵講



↑下北迫地蔵講の様子

8月24日(日)、広野町大字下北迫地内で、下北迫地蔵講が行われました。

このお地蔵さま(延命地蔵尊)は、天明の大飢饉のときに亡くなった人たちを供養するために造立されたもので、林蔵寺に遷されていたときもありました(広野町史「民俗・自然編」600ページ)。

林蔵寺の和尚さんが読経し、集まった地域の人たちが、輪になって大きな数珠を握り、数珠繰りをしました。

広野駅をきれいに



↑広野駅周辺での美化活動の様子

9月6日(土)、広野駅周辺での美化活動が行われました。厳しい残暑の中、広野駅環境美化推進協議会の会員を中心に、婦人会、企業、鉄道関係者や町職員など約50人が、駅構内や駅前広場などの除草作業に汗を流しました。

復興応援コンサート 「がんばる君のために」

9月7日(日)、広野町公民館でシンガーソングライターの間島 秀樹さんによる復興応援コンサート「がんばる君のために」が開催されました。会場は、アットホームな雰囲気、観客はアコースティック・ギターの弾き語りに耳を傾けていました。午後はいわき市内の居宅介護支援事業所でも行われました。



↑復興応援コンサートの様子

公式アプリが 500ダウンロードを突破

広野町が、今年の3月14日に公開したスマートフォンおよびタブレット向けアプリのダウンロード数が、8月24日(日)に500件を超えました。

これは、スマートフォンなどのモバイル端末の普及に対応し、町民をはじめ全国の人に、即時性の高い情報提供をする趣旨で、平成25年度に復興庁の「福島原子力災害避難区域等帰還・再生加速事業」を活用して開発したものです。

メニューは、①お知らせ、②イベント、③防災臨時ニュース、④便利情報、⑤フォトマップ、⑥電話番号案内、⑦公式Youtube(動画)チャンネルページ、⑧公式Facebookページ、⑨公式Twitterページです。



↑公式アプリの初期画面